

令和4年11月30日
環境清掃部温暖化対策課

チーム江東・環境配慮推進計画の令和3年度進捗状況について

1 概要

- ・本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本区の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量の抑制等を推進するための計画である。
- ・令和2年3月に「チーム江東・環境配慮推進計画（第3次庁内環境配慮推進計画）」を策定し、計画期間を令和2年度から令和11年度までの10年間とした。
- ・目標は二酸化炭素排出量の削減であり、その値は令和6年度に平成30年度比5%削減、令和11年度に10%削減である。

2 目標と令和3年度の実績

二酸化炭素排出量を29.8%削減（平成30年度比）、目標を達成した。

基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	実績値 (令和3年度)
36,386 t-CO ₂	34,567 t-CO ₂ (△5%)	25,554 t-CO ₂ (△29.8%)

3 目標達成に向けての取組みと令和3年度の進捗状況

- ・二酸化炭素排出量の削減に向け、10の管理指標で進捗を管理（別表）
- ・結果は次表のとおり

管理指標総数 10		
達成	達成に至らず 6	
4	向上 3	低下 3

「達成」した管理指標

管理指標		実績値の状況
1-②	用紙購入量	用紙使用量を減らしたため
4	上水道使用量（床面積あたり）	休館や施設の利用制限による
7	廃棄物量	施設におけるごみ持ち帰りの徹底や事業の減少による
9	木材利用 0.008 m ³ /m ² 以上の新築・改築施設の割合（木材利用推進方針）	新築の施設（1施設）で木材を利用（改築の施設なし）

「向上」した管理指標

管理指標		実績値の状況
3	都市ガス使用量(床面積あたり)	休館や施設の利用制限による
5	低公害車の導入	低公害車でない車両の廃車による
8	リサイクル率	廃棄物量の減少による

「低下」した管理指標

管理指標		実績値の状況
1-①	コピー機・複合機の出力枚数	出力枚数を把握できる複合機の導入が進み、枚数の把握が可能となったため
2	電気使用量(床面積あたり)	換気により空調の利用が増加したため
6	エネルギー使用量（床面積あたり・原油換算）	電気使用量の増加による

4 今後について

令和3年度の二酸化炭素排出量については、令和元年度の全小中学校へのCO₂排出係数の低い新電力導入に伴い、当初想定していた令和11年度の目標値を大幅に上回る削減量となった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向にあったエネルギー使用量は増加に転じており、更なる省エネ・節電対策への取り組みが必要である。

2050年のゼロカーボンシティ江東区実現に向けた目標と道筋を明確にするとともに、チーム江東・庁内環境配慮推進計画についても、ハード・ソフト両面での見直しを検討していく。

全管理指標の実績値と基準比

○ (達成) ↑ (改善) ↓ (未到達)

管理指標	単位	基準値 (平成30年度)	実績値			前期目標 (令和2～令和6年度)	目標達成	進捗状況
			令和2年度	令和3年度	基準比			
1 ①コピー機・複合機の出力枚数	千枚	38,838	39,326	41,080	5.8%	現状維持		↓
②用紙購入量*1	千枚	82,601	82,601	77,870	△5.7%	現状維持	○	
2 電気使用量(床面積あたり)	kWh /千㎡	22,507	22,092	23,800	5.7%	△5%		↓
3 都市ガス使用量(床面積あたり)	Nm ³ /千㎡	1,644	1,545	1,607	△2.3%	△5%		↑
4 上水道使用量(床面積あたり)	m ³ /千㎡	595	451	498	△16.3%	△5%	○	
5 低公害車の導入	%	93.5	92.5	97.1	3.6%	100		↑
6 エネルギー使用量*2 (床面積あたり・原油換算)	kL /千㎡ (原油換算)	7.8	7.46	7.97	2.2%	年平均1% 以上削減		↓
7 廃棄物量	t	1,183	1,056	1,118	△5.5%	△5%	○	
8 リサイクル率	%	49.3	48.0	50.4	1.1%	65		↑
9 木材利用 0.008 m ³ /m ² 以上の 新築・改築施設の割合(木材利用 推進方針)	%	100	-*3	100	-	100	○	

*1 用紙購入量は、新規管理指標のため、令和2年度を基準年度とする。

*2 エネルギー使用量の原油換算は、電気、都市ガス、ガソリン、灯油、軽油、A重油、液化石油ガス(LPG)の使用量に基づいて算出。

*3 令和2年度は新築及び改築がないため、実績なし。